

チャレンジ

栗生小学校
4年学年通信
令和6年2月15日

府南学園の先生に子供達の

頑張りを見ていただきました！

1月24日(水)に公開研究会があり、府南学園のたくさんの先生方が4年生の授業を見に来られました。子供達は、「先生は何人くらい来られるかな?」「緊張する!」「参観日の時よりドキドキする!」ととても緊張している様子でした。しかし、いざ授業が始まると、つぶやきで友達の発表を後押ししたり、友達の考えから繋げて発表したりと課題解決に向けてクラス全員で協力して頑張っていました。緊張はしつつもいつもの力を発揮してくれました。



式や表を指し示して



自分の考えと比べて



縄跳びチャンピオンを決めました

1月29日に短縄記録会がありました。子供達は記録会に向けて体育の時間や休憩時間を利用して一生懸命練習していました。当日は「自分の記録を更新するために全力で取り組む」と子供達が目標を決め、あきらめずに全力で取り組みました。目標に向けて一生懸命頑張る姿や、友達の頑張りを自分のことのように応援する姿に4年生の成長を感じました。

そして2月5日には延長戦を行い、3・4年生の縄跳びチャンピオンを決めました。

短なわ記録会・縄跳びチャンピオンに向けてがんばったこと

わたしが頑張ったことは2つあります。1つ目はいい記録を出すためにたくさん練習をしたことです。縄跳びは苦手な記録をあまり出せていなかったです。だからたくさん練習をがんばりました。おばあちゃんやおじいちゃんに「よくがんばっているね。」と言われてとてもうれしかったです。3・4年生の縄跳びチャンピオンになれた時は、心臓が飛び出しそうなくらいうれしかったです。家で、お父さんやお母さんに「すごいじゃん!よく頑張ったね。」と言われてうれしかったです。音楽をYouTubeで流して練習するのが特におすすめです。2つ目は「自分ならできる。」「大丈夫だ。」と言い聞かせたことです。自分に言い聞かせることで、難しい挑戦も達成できるような気がして良かったです。そして、いい記録が出せて良かったです。

水田 愛梨沙

短なわ記録会

「パチン、パチン」みんなのとぶ音が聞こえる。自分も負けずに頑張る。心の中が「ドクン、ドクン」ドキドキしてくる。毎日練習を頑張った。いい記録を出すために。縄跳びチャンピオンの当日、サイドクロスは私と飛和吏君だけになった。誰かが「えっ!」と言ったので私はドキドキしてしばらくとび続けた。次の瞬間みんなが拍手をして「さっちゃんすごい。」「チャンピオンさっちゃんが取った。」と聞こえた。私はチャンピオンになった瞬間うれしくて泣いていた。来年はもっと色々な技がうまくなりたい。

高山 さつき

参観日・学級懇談会のお知らせ

2月16日(金)

13:40~14:25 授業参観

①4年生でがんばったことの発表

②合奏

14:30~15:15 学級懇談会

次年度役員選出